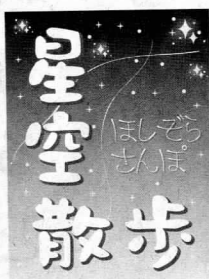


隕石の脅威と魅力

いとせき
日ごと深まる木々の新緑、野鳥や虫たちの活発な動きからも初夏の気配が漂います。それもそのはず、あと1カ月を待たずに夏至を迎えます。その時期の太陽は最も北寄りから昇り北寄りに沈むため昼間の時間が長くなり、日差しはほぼ頭上から降りそそぎます。

さて、先日オーストラリアの夜空に大型の火球が現れ、辺りが一瞬真っ白な光に包ま



宇宙からの使者 謎が詰まった宝物

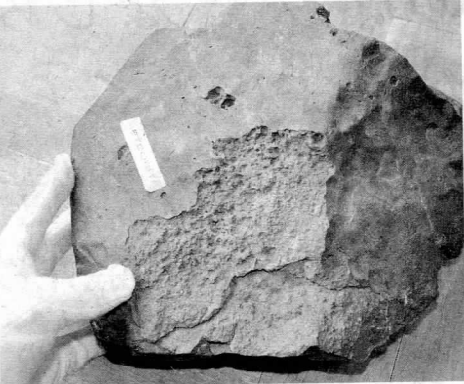
れたと報道されました。直径50センチほどの隕石が落下したとみられています。流

れ星に憧れを抱く方は多いと思いますが、火球はそれより大きく文字通り火の玉が突如出現するため、見た人に大きな衝撃を与えます。10年ほど前、人口が集中するロシアの都市部に昼間落下した隕石は、落下場所から離れた地域でさえ「衝撃波」と呼ばれる圧力によってビルの窓ガラスが割れ、多くの怪我人が出ました。最も有名なお話として、6500万年前の恐竜絶滅も直径10キロほどの天体落下が原因とする説が有力で、地球環境の激変を招くことも事実です。

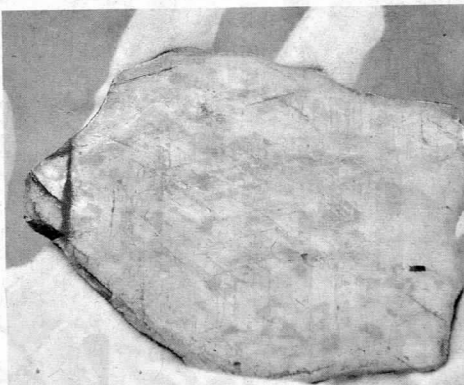
隕石がどこからやってくるのかというと、地球のお隣、火星と木星の間にある「小惑星帯」付近からのものが多い、小惑星同士が衝突して飛

び散った破片が小惑星帯から外れ地球にぶつかったものと考えられています。隕石は石だけでできた「石質隕石」、鉄の塊「隕鉄」、石と鉄が混ざり、落下隕石全体の2%にも満たない「石鉄隕石」の3種類に分類され、見つけやすい南極では月や火星由来のものも含め数万个もの隕石が見つかっています。また1976年に中国では総重量4トにもなる大小様々な隕石が雨のように降ったとか。宇宙で長い年月をかけゆっくりに冷やされた時にできる独特な模様（ウイドマンシュテッテン模様）など、地球上の鉱物にはない模様や成分も魅力です。隕石は太陽系誕生時の謎が詰まった宝物ですね。

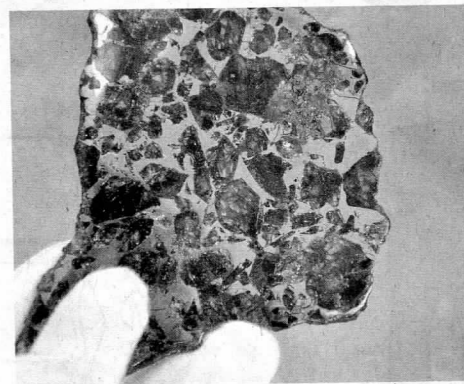
(八ヶ岳自然文化園)



石質隕石（サハラ隕石）



鉄隕石（ギベオン隕石、1836年発見）



石鉄隕石（アドマイヤ隕石、1881年発見）